

チーム「県下布防」

課題研究という授業の「防災班」で、防災ベンチを開発、製作し、避難所となる学校へ寄贈してきた。授業では、時間が足りないため、授業メンバーを中心に、チーム「県下布防」を作り、放課後、休日に精力的に製作をした。昨年度は1台の寄贈であったが、今年度は県下に留まらず、8台の防災ベンチを製作し5台を寄贈した。来年度は、校内で「県下布防」チームを2チームに増やし、他校での開発、チーム作りを模索している。



授業での内容

- 1 テーマ 「防災」防災ベンチの開発、製作、改良、寄贈。
- 2 目的
 - ・防災ベンチを製作し、避難所に寄贈する。
 - ・木材の特徴と、加工工具の使用法を学ぶ。
 - ・金属薄板の特徴と、加工工具の使用法を学ぶ。
 - ・開発、製作にあたって、改善点をリストアップし、新型の製作に生かす。
- 3 班員 7名
- 4 指導教員 1名
- 5 年間計画 4月～ 5月 昨年度製作途中作品の完成
6月～12月 寄贈品の製作、改良
11月 文化祭で展示
1月 発表準備、まとめ
- 6 工程・工具 ベンチ部(木工)



木材ケガキ(差し金)、のこ引き(クイックパークランプ・両刃のこぎり)、カンナがけ(カンナ)、やすりがけ(紙やすり、電動サンダー)、ペイント作業(水性ペイント、はけ)、締結(コーススレッド・充電式電動ドライバー・木工用ボンド)
コンロ部(板金工)



金属薄板ケガキ(差し金・スケール・メジャー)、切り出し(金切りばさみ、バリ取り)、板金(卓上曲げ機、木づち、バイスプライヤー、シートメタルバンドプライヤー)、締結(センタポンチ、充電式電動ドリル、リベッター、ブラインドリベット)、断熱材装入(パーライト)

- 7 感想 リーダー 植木 智也

私は、この「防災ベンチ」制作にあたって、学ぶことがたくさんありました。みんなをまとめることの大切さを知りました。そのほかにも技術面では寸法をきっちりとする大切さや、子供がケガをしないようにきちんとバリ取りをしたり、正確に組み立てをしたり、技術面で学ぶことができました。



た。こういった経験を将来でいかせられるようにしていきたいと思います。



今年度の実績

1. 寄贈校、地域

姫路市内 姫路市立飾磨小学校 姫路市立中部中学校
 他府県 岡山県 倉敷市立菌小学校 倉敷市立岡田小学校
 福島県 福島県立小高産業技術高校

2. 新聞掲載等

令和元年7月15日 神戸新聞
 令和元年12月 県民だより
 令和2年1月18日 朝日新聞 神戸新聞



今後の発展と計画

1. 授業と放課後チームを2チームとし、生産性の向上を図り、量産体制の充実を目指す。
2. 他校でのチーム作りに協力し、製作ノウハウや、連携強化を図る。



「県下各地」チームと協働する飾磨工業高校生徒。